

「より良い環境」をめぐる協働で

公害の歴史の生き証人である語り部の存在は唯一無二のもですが、同時に高齢化という問題も抱えています。昨年1月には、四日市公害裁判の原告であり語り部でもあった野田一（ののた ひとし）さんが亡くなりました。四日市公害の発生からすでに半世紀以上が経過し、当時の様子を知る人が少なくなる中で、記憶の継承が課題となっています。

こうした事態に対応するためには、語り部講話の映像資料の整備だけでなく、やはり人による継承が大切になつていきます。公害を実際に経験していない人が伝えていくことの難しさを感じながらも、市民ボランティアである解説員や職員のみなさんの存在が今後、ますます大きくなっていくとでしよう。

また、これからの環境問題を考えていくうえでは、私たちが環境に対する意識を持ち、行動していくことが欠かせません。市と協働で環境活動を実践しているエコパートナーは、その中心的な存在です。今後も、四日市公害と環境未来館が市域における環境活動の拠点となり、エコパートナーのみなさんの活動の輪が広がっていくことが期待されています。

学び、情報発信の場として

四日市公害と環境未来館では毎年、公害環境問題に関連した企画展を開催しています。

令和元年の夏に開催された、開館5周年記念企画展「地球の彩りを宇宙から」では、宇宙から眺める地球の姿が写真と映像で紹介されました。地球観測衛星が観測した世界中の自然環境のデータから、最新の地球環境の変化をみることで、今、地球で起こっている環境問題に目を向け、かけがえのない地球の大切さを考える機会になりました。

そのほかにも四日市公害と環境未来館では子どもから大人まで、さまざまな環境問題への理解を深める環境学習を年間約190講座実施しています。なかでも子どもを対象とした環境学習講座には、貝がら、ドングリなどの自然のものやリサイクル材料を使った工作、科学実験、野外での自然体験など、多様な分野を切り口にして、楽しく環境について学ぶことができる講座が企画されています。



▲企画展「地球の彩りを宇宙から」



▲カニカイパラダイス

四日市公害の経験をどう活かすか

ひとたび環境が破壊されると人命に関わる甚大な被害がもたらされること、その回復には多大な労力が必要なこと、失われた命は決してもどらないこと。四日市公害の歴史は、人間にとっての普遍的な教訓を提示しています。

生川館長「四日市の経験を積極的に情報発信することが、全世界共通の課題でもある公害・環境問題に対し、いかに対処すべきかのひとつの大切なことになると思います。そして、そのことが、四日市公害で犠牲になられた方々に対する我々の責務だと考えています。」

また四日市公害の経験には、大気汚染や健康被害などの公害・環境問題だけでなく、経済発展とのかかわりなどさまざまな要素が含まれており、そこには持続可能な社会を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けての手がかりを得ることができます。

その経験を過去のことだと終わらせず、私たち一人ひとりが未来へ引き継いでいくためにこれからの時代、身近な自然や社会の課題にも目を向け、自分のできることを考え行動していくことが求められています。

そして5周年を迎える四日市公害と環境未来館は、こうしたことを次世代へつないでいく拠点として、今後も展開していきます。みなさんもぜひ訪れてみてください。

写真提供 四日市公害と環境未来館

四日市公害と環境未来館

四日市市安島一丁目3番16号 四日市市立博物館2階
<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/yokkaichikougai-kankyomiraikan/>

開館時間 ▶ 9:30～17:00(展覧会への入場は16:30まで)
 休館日 ▶ 月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始・臨時休館日
 入場料 ▶ 無料 ※特別展・企画展は展覧会ごとに定めます。

ちびっこ環境劇

日時 2020年3月29日(日)
13:30～14:30

場所 そらんぼ四日市
(四日市市立博物館)
1階 講座室

子どもたちがオリジナルの環境のお芝居に挑戦します。どなたでも鑑賞することができます。ぜひご覧ください

四日市公害と環境未来館 開館5周年記念講演会

定員80名
申し込み不要

日時 2020年3月21日(土) 13:30～15:00

場所 そらんぼ四日市(四日市市立博物館)1階 講座室

演題 「環境」をめぐる環境の変化に対応する
—四日市公害と環境未来館開館5周年に寄せて—

講師：元環境事務次官
一般財団法人
日本環境衛生センター
理事長 南川 秀樹さん

主催 四日市市